

中学生模擬議会

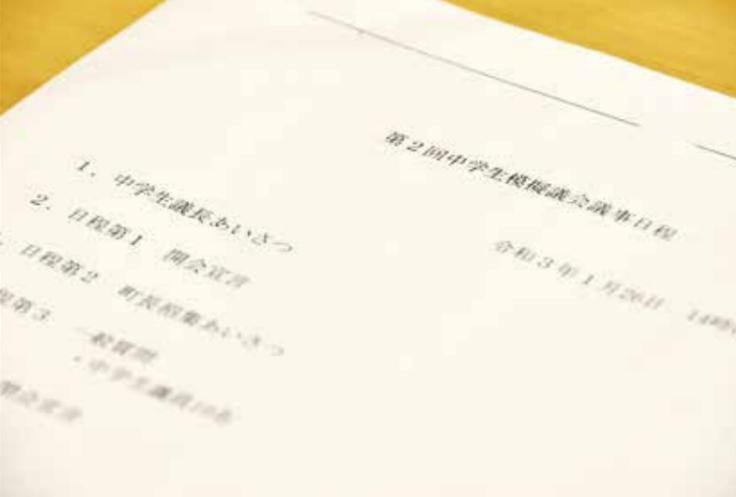
議員10名が一般質問

1月26日、令和元年度に引き続き、第2回中学生模擬議会が開催されました。
 この取り組みは、議会の役割や地方自治の仕組みを学ぶとともに、将来の御代田町への関心と理解を深めることを目的としています。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、中学生議員以外の3年生は模擬議会を傍聴せずに、GIGAスクール構想による1人1台のパソコンを活用して教室で模擬議会を視聴しました。中学生議員(3年生)が提案した質問と答弁の一部を紹介し、(全体の議事録は町ホームページに掲載します)。



町長以下町の執行部を前に緊張感が感じられます。



Q

町の安全のため、防犯カメラの設置を



増田 力也 議員

地域の合意を得て 取り組む

【答弁】

防犯カメラの設置は、空き巣などの犯罪や不審者からの声かけ事案などの抑止や、徘徊の発生時にも大きな役割を果たすものです。その一方で監視社会を危惧する声や、プライバシーの侵害を危惧する声も少なくないため、町や区が勝手に防犯カメラを設置してよいという訳にはいきません。

町の区長会においても「こみの不法投棄」や「不審者情報」の収集などのため、防犯カメラの設置について議論があり、必要性については共通認識となっています。

町としては、安心・安全なまちづくりの一環として、地域住民の合意が得られたところから、区や警察署などの関係機関と協議した上で、防犯カメラの設置に取り組んでいきたいと考えています。

町内には防犯カメラが少ないと思われていますが、町はどのように考えているでしょうか。クマの出没や不審者が出るといった情報は多く聞かれます。他の自治体と比較すると防犯カメラが少なく、危険な町になってしまうのではないのでしょうか。

これを防ぐために、人通りの少ない所や暗い所、例えば、小中学校の前や通学路には防犯カメラを設置してほしいです。

防犯カメラによって安心・安全な町づくりにつながります。

Q

しなの鉄道をくぐり西軽井沢へ向かうガード下の道を広げるなどの安全対策を



萩原 蓮 議員

新たな道路を 整備していく

【答弁】

ご指摘のとおり、道路幅が狭く、すれ違いができないため、譲り合いながら通行していただいています。

町としてもさまざまな検討を重ねてきています。

検討した道路計画は、線路の下にもう一つの穴を通して新しい道路をつくり、それぞれ一方通行にする手法です。ただ、この工事をする場合、多額の事業費(平成16年の試算では6億5,800万円)がかかることから断念しました。

現在、計画している道路の一つにガード下を通らずに、役場と西軽井沢方面を結ぶ道路(東原西軽井沢線)計画があります。東原西軽井沢線により、生活道路としての利便性の向上と自然災害発生時の避難路としての役割が期待されています。

東原西軽井沢線の開通によりガード下を通る車は減ると考えられ、渋滞の解消を期待しています。